



フジ子・ヘミングさんは、ベルリン生まれのピアニストです。母親は日本人のピアニストでしたが、フジ子・ヘミングさんの音楽人生は、晩年になって花開きました。彼女は著書の中で「目の前にある現実だけを見て、幸福だとか不幸だとか判断してはいけない。その時は不幸だと思っていたことが、後で考えてみると、より大きな幸福のために必要だったということがよくあるの。」と書いています。

今月の進路ジャーナルでは、高等部の「先輩の話聞く会」についてご紹介します。講師をされた千葉さんも、実習中は通勤に時間がかかり、早朝から暗くなるまで頑張りました。電車が運休し、急遽路線バスに乗って通勤しなければならないなどの困難を乗り越えて進路を決めました。

フジ子さんは、「人生は何のために生きるのかって考えてみると、苦難を乗り越えていくために生きるのだと思う。何もしないで、生きていこうなんて生き方はダメよ。」とも言っています。できれば困難はない方がいいけれど、目の前に困難が来たときには、楽しみながら乗り越えていけるようになれたらいいなあと思います。



「先輩の話聞く会」

1月23日(木)、高等部では、卒業した先輩を講師として、「先輩の話聞く会」を開催しました。

今年は、昨年3月に卒業し、黒石市にあるオリンパスサポート株式会社に勤務している千葉さんが講師でした。千葉さんは、現在、黒石市内で一人暮らしをしながら、路線バスで通勤しています。生徒たちからは、『職場でのこと(仕事)』、『生活のこと(一人暮らし)』、『社会人や大人になること』、『余暇的なこと』についてたくさんの質問が出されました。今回は、生徒と先輩のQ&Aをご紹介します。



Q1. 会社での仕事内容は？

社内の清掃を担当しています。清掃場所は、通路、トイレ、食堂などの共有スペース部分です。



Q2. オリンパスサポートメイトに就職しようと思った理由は？

3年生のときに、2回実習へ行きました。掃除をしたら、会社がきれいになり、やりがいと達成感があり、その時に、卒業後も働きたいと思いました。



Q3. 仕事は忙しいですか？

清掃をしながら、(時間内に作業が終了するように)時間を見たり、次の清掃場所を考えたりするので、少し忙しいです。



Q4. 業務で気を付けていることは？

清掃に時間をかけすぎないこと。丁寧すぎないことです。適当にやるということではなく、手早く、きれいにすることが大切ですが、私はつい丁寧に掃除しすぎるので、気を付けています。



Q5. 学校と会社で違うことは何ですか？

学校は学ぶ場だと思います。卒業後に自立するためのスキルを身に付ける場所です。一方、会社は働く場で、仕事をする場所です。



Q6. 一人暮らしで大変なことは何ですか？

自分一人で家事をしなければならないことです。



Q7. 一人暮らしをするために、在学中にやっていたことは？

家で、自分の部屋の掃除や洗濯をしていました。また、米とぎや簡単な料理を作るなどの手伝いもしていました。



Q8. 学校で身に付けておくといいと思うことは何ですか？

コミュニケーション力として、挨拶や返事、報告・連絡・相談ができるようになること。社会人としてのマナーやルールを守ること。日常生活の基本的な知識や技能を身に付けておくことです。



Q9. 格好いい大人とは、どんな人だと思いますか？

仕事にまじめに取り組むこと。分からないことがあったときに、すぐに相談できること。規則正しい生活をし、毎日仕事に行くことができる人だと思います。



講師の千葉さんが、将来はどんな社員を目指したいかを聞かれた際に

「もし、一緒に働いている人（同僚）が休んだときにも、その人の分も作業を分担してあげられる頼られる存在になりたい」と答えていたのがとても印象的でした。仕事面でのオリンパスサポートメイト株式会社様の丁寧な支援や、在学中から現在に至るまでの家庭でのサポートなどがあり、この日の“格好いい先輩!”の姿があったのだと思います。

講師の千葉先輩、そしてオリンパスサポートメイト株式会社の皆様、また保護者の皆様、ご協力いただきありがとうございました。先輩の頼もしい姿を追いかけて、後輩たちも頑張ります！



「先輩の話を聞く会」のQ&A(全47項目)は、ひまわり通りに掲示しています。来校の際に、ぜひご覧ください。